

北の国災害サポートチーム 有珠山地区意見交換会 in 洞爺湖町 報告

1. 目的

有珠山噴火災害を念頭に、札幌をはじめとする全道の災害ボランティアに有珠山を事前に知ってもらおう。また、地元の行政・社協などの関係者や地元の活動者が、全道各地のボランティアと普段から情報交換を行うことで、気軽に連絡・相談できる関係を作り、いざというときに必要な支援を行う事ができる体制を構築する。

昨年12月、伊達市で北サポの活動紹介と地域の現状などの意見交換を行った意見交換会に引き続き、2回目の開催となった。

2. 当日プログラム

実施日：2021年10月12日（火）10時～16時

1) 実地見学会

洞爺湖ビジターセンター、金比羅火口災害遺構を見学。ガイドの荒町美紀さん（火山マイスター）は、災害遺構として残されている住宅に当時お住まいで、経験者の気持ちを含む貴重な体験を伝えていただいた。

2) 意見交換会 有珠山噴火への備え

会場：洞爺湖文化センター別館会議室

●有珠山地域の災害への備えなどを関係者からきく

（1）2000年噴火の経験から（荒町美紀さん）30分

（2）コミュニティFMにおける災害時の情報発信（FMびゅー・沼田勇也さん）15分

（3）洞爺湖町災害対策担当職員 10分

●15時～16時30分 意見交換90分

意見内容

- ・有珠山噴火は前兆現象があることが多く、経験者には「慣れ」があるので油断に注意したい
- ・洞爺湖町民は豊浦、長万部、町内（旧洞爺村）、伊達などに分散して避難する予定で避難所が60カ所程度になることが予想される
- ・ボランティアセンターの設置について、情報・食・避難所の格差や迷惑支援物資をどう防ぐか、など具体的な課題があげられた
- ・情報の収集や提供はコミュニティFM（SNSでの発信も含む）を普段から活用して欲しい

全体的に、地元の備えの現状や、北サポメンバーの活動内容などの情報交換ができた。地元活動者から「いざというときにこの人たちが来てくれると思うと心強い」と感想をいただいた。

3. 参加者 21名

北の国災害サポートチーム幹事団体、地元の活動者（火山マイスター）、洞爺湖町職員、社協職員